



第14回 エアコン丸洗い協会 総会

28社36名が参加
2008年4月10日・11日
会場：クロスウェーブ(船橋市)

- ベストデンキ 深谷店
- スマイリー
- (株)中岸商店
- (株)ダイサンプロパン
- (株)ユニバ
- イノクリン産業
- (株)ツノイ電気
- 西部電設管工
- 関東燃料企業組合
- 福田電器
- ヒタカデンキ
- エアコン丸洗い東日本(株)
- 伊藤忠エネクスホームライフ中部(株)
- 伊藤忠エネクスホームライフ東北(株)
- (株)ミヤプロくらし応援隊
- (株)斎井
- (有)共和電気
- ソニック設備工業(株)
- (株)ハンドシエイク
- (株)アリタ
- 産業報道出版(株)
- 電波新聞社
- 空調タイムス社
- (株)いんぷつと
- (株)石油化学新聞社
- 日刊工業新聞社
- (有)ヨシオカデザイン
- エアコン丸洗い(株)

千葉 千葉 千葉 東京 東京 東京 栃木 東京 神奈川 東京 千葉 埼玉 福島 栃木 宮城 愛知 福島 千葉 千葉 群馬 群馬 埼玉 茨城 千葉 山口 徳島 千葉 埼玉

新開発 AHU用洗浄機を発表

大型ビル用空調機AHU(エアハンドリングユニット)の熱交換機を洗うことができる洗浄機をソニック設備工業(株)と共同で開発した。AHU洗浄事業について、ソニック設備工業の中屋賢弘氏から説明があった。



新洗浄機を紹介する中屋氏(右)と西村会長



先端に保護パットが付いた洗浄ピストルガン

業界各紙に資格制度の導入が紹介。

成功事例を報告
加盟企業の成功事例
空調タイムス 416
日刊工業新聞

資格制度に大きな関心が



環境問題を追い風に「診断士」資格制度を

総会は「原点回帰」をテーマに、2008年4月10日、千葉県船橋のクロスウェーブにおいて、22社28名の協会員の参加で2日間の日程で行なわれた。今年は例年参加の株式会社いんぷつと、空調タイムズ社、電波新聞社等のマスコミ各紙の取材を多数受け、原点回帰の年と位置づけた総会を盛り上げた。

最初に挨拶にたった西村会長は、1993年に当該事業を開始したきっかけから振り返った。当時エアコンクリーニングを事業化したのはダスキン。パブルがはじけ、経済が縮小、新しいビジネスの創出が期待されていた時期でもあった。そのCMを西村会長が観て、これはもう我々電気屋当時は電気店を経営)の仕事ではないかと気が付いたことが発端だったという。

そこで、特許の取得を機に当協会を設立し、ボランティアチェーンとして市場に打って出たところ、時あたかも環境問題が表面化し、企業努力が否応なく求められる時代となったため、エアコンのクリーニングによって省エネ効果が格段に上がるという協会事業はまさに時代のニーズにあっていた。しかしながら当初掲げた協会としての目的はまだまだ果たせていないため、昨年大型ビルの空調機の洗浄システムを千葉県県の補助金を獲得して開発したことを弾みに、今後は勉強会の立ち上げ、資格制度の確立、ネットを使ったビジネスモデルの策定などで、原点回帰の年に相応しい充実した展開を図っていくことを宣言した。

加盟企業現地支援を強化

活動報告

本部報告は会長から、次の報告があった。
 加盟店支援活動として、群馬、北九州、愛知等に現地出張した。エコ・ジャパンカップ2007、日本環境経営者大賞に応募した旨等の報告があった。
 続いて、東日本支部支部長、佐藤雄司氏より支部活動報告があった。
 11月14日、郡山市にて支部総会開催12社20名の参加、また5月25日に技術・営業研修会を郡山市石油会館にて開催等の報告があった。
 次に行われた優秀加盟店表彰は、次のメンバーとなった。

- 優秀賞
 - エアコン丸洗い東日本(株)
 - 株米倉電機
- 加盟店表彰
 - 伊藤忠エネクスホームライフ東北株
 - 関東燃料企業組合
 - 新会員
 - 西部電設管工
 - 伊藤忠エネクスホームライフ中部株



▲賞状を受け取る伊藤忠エネクスホームライフの小野氏(左)

新会員の報告 西部電設管工 松島康人氏

昨年4月、関東燃料企業組合、峰奥和則氏の紹介で、19年度総会にオプザバーで参加後、加盟した。松島氏は当初から省エネルギーに高い関心があり、自身も国家資格エネルギー管理士を取得しており、この一年でエアコン洗浄による省エネ提案を進めてきている。エアコン丸洗い事業導入後、技術研修を兼ねて伊勢崎管工設備協同組合のエアコンを洗浄した。協同組合は、環境群馬スタウンダード認定事業所に登録されており、協会の無公害3液工法を高く評価している。

伊藤忠エネクスホーム中部(株)河野弘一氏、長谷川勇氏
 昨年9月に加盟して、「技術屋集団になる」物売りの営業からお客様に安全・安心・信頼を売る技術営業をテーマにエアコン丸洗いをスタート、9月、3月までを試運転期間として、四月から本格的に稼働する計画だ。法人の顧客リストをもとにした営業活動で、業務用を年間100台、200台を計画、チラシやキャラクター名刺を配布するなど広告活動にも力を入れていく。蓄積データの有効活用で、継続可能な環境保全活動/環境経営を展開の計画である。



西部電設 松島氏



伊藤忠エネクスホームライフ中部 長谷川氏/河野氏

●共和電気(小島氏)
 9年前に顧客ゼロで創業、1万台以上のエアコンを洗浄してきた。当時は靴が1ヶ月もたなかった。創業当初の信念を思い直して営業展開。今ではリピート客も増え、年商4100万円超。粗悪な施工業者が多い中、常に顧客満足度の高い洗浄を心がけてきた。おかげで、紹介客も増えている。片手間ではなく、本腰を入れて取り組むことによって事業は成り立つ。



会場風景

4/10 第3部

パネルディスカッション

資格制度と社会貢献

資格制度を導入したサービスの内容のレベルアップ、漫画チラシの配布などで顧客との密着度を高める広告宣伝活動も積極的に行なうことなどが、西村会長から発表された。

●伊藤忠エネクスホームライフ東北株

エアコンクリーニング業界全般では市場が鈍化している中、トヨタ、京葉ガスが業界に新たに進入。2009年の省エネ法改正は小型店舗にも適用されることからエアコン洗浄ビジネスにとっては好機到来。

◆電波新聞

2007年の酷暑による販売台数の伸びや、省エネ家電の一般化の傾向は年々高まっている。

◆産業報道出版

サウジアラビアの価格高騰でプロパン業界は今苦境に立たされている。様々な試みがなされているが、いまだ流動的な状態が続いている。

◆石油化学新聞社

消費者側からの視点で言えば、プロパンガス点検者は営業マンという意識の徹底を図ることが肝要。

◎加盟企業の発言

●イイノクリーン産業(飯生氏)
 事業開始当初は順調であったが、

現在は原点に戻って立ち直りを図っている。資格制度についても検討中。
 ●ツノイ電気(角井氏)
 夏場は家庭用ルームエアコン設置工事が忙しくなるので今からエアコン洗浄を積極的に受注している。資格制度は大賛成。
 ●ヒダカデンキ(高田氏)
 安いエアコンクリーニングを試みて失敗しているお宅は多い。資格制度導入はこれからの時代にピッタリ。
 ●ベストデンキ(石井氏)
 資格制度については、検定家電アドバイザー試験などが参考になるのではないか。
 ●ダイサンプロパン(西田氏)
 昨年は県と市に登録し、県の仕事で80台受注。業務用を中心に順調であった。資料の作成にも細心の注意を払っている。
 ●斎井(斎藤氏)
 昨年度は広告宣伝活動が足りなかったためかやや低迷。資格制度についてはブランド力をつけることが肝要。
 ●中岸商店(森坂氏)
 一昨年は140台、昨年は120台と受注は下降。今年は一昨年を上回る実績を上げていきたい。地方の作業員にも実技講習をしてほしい。

エアコン丸洗いは環境対策商品であり、社会貢献度の高い商品であることを全面的に訴求することでブランド化を図る。

●伊藤忠エネクスホームライフ東北(武田氏)

原油の高騰で、ガス以外からの収益を模索しているが、なかなか戦略的に焦点が定まらないのが実情。今は環境対策商品として訴求していきたい。
 ●エアコン丸洗い東日本(溝井氏)
 定期契約を中心に展開し、リピート顧客も定期契約にもついていた。ミニコミ誌、チラシを活用。今後はアイッシュペーパー、はがき等もまた、支部のサポートにも注力したい。
 ●ミヤプロ(佐藤氏)
 業務用エアコン洗浄をこれからの主軸としていくために、ぜひ資格制度でスキルアップを図りたい。資格制度は大賛成。
 ●関東燃料企業組合(古川原氏)
 18年度からバスタードグループ群馬、埼玉、栃木に10数店舗展開のエアコン洗浄を定期契約、今年2回目。昨年は県立高校の天カセエアコン洗浄30台を4日で施工。両作業とも協会本部の応援を依頼実によかった。
 ●スマイリー(小野氏)
 お掃除と害虫駆除を主体に展開。アパート等のエアコンをまとめて洗浄するケースがある。

4/11 2日目

資格制度について具体的に審議検討

2日目は全体討論が行なわれ、エアコン丸洗いの現状と今後の課題について活発な議論が繰り広げられた。中でも西村会長提案の「資格制度の導入については特に熱心に議論が交わされ、内弟子制度や公的資格制度と並行したものなどが検討された。最終的に導入には満場一致で決まり、今後の展開に大きく弾みをつけた。資格の概要は、販売実績に応じて「初級」、「中級」、「師範」となる。

エアコン丸洗い診断士、教育プログラムのイメージ、コースイメージ資格申請要件

- 初級 1 家庭用エアコンを円滑に洗浄する能力を有する。
- 2 家庭用エアコンの構造を理解している。
- 3 エアコンヒートポンプの原理を理解している。
- 4 施工実績、家庭用100台以上(2,3は講座終了後の試験に合格)

- 上級 1 業務用エアコン、天カセ、天吊を円滑に分解・洗浄する能力を有する。
- 2 業務用エアコンの構造を理解している。
- 3 ヒートポンプの原理を理解して、説明できる。
- 4 エアコンの汚れ程度と省エネ(電気代削減)を試算、お客様に洗浄サイクルを提案できる能力を有する。
- 5 施工実績、業務用400台以上、電気工事、空調工事、メンテナンス関係及びこれらに準じる資格を有する者(2,3,4は講座終了後の試験に合格)

師範 1 上級コースを終了した者。
 2 業務用エアコン、ビルトイン型、床置き型、天井埋め込み型...大型ビル用空調機の洗浄に対応する能力を有する。
 3 初級、上級コース受講者を指導、育成できる能力を有する。
 4 協会への推薦者を資格評価委員会決定



エコ意識の高揚と技術向上の資格制度を確立